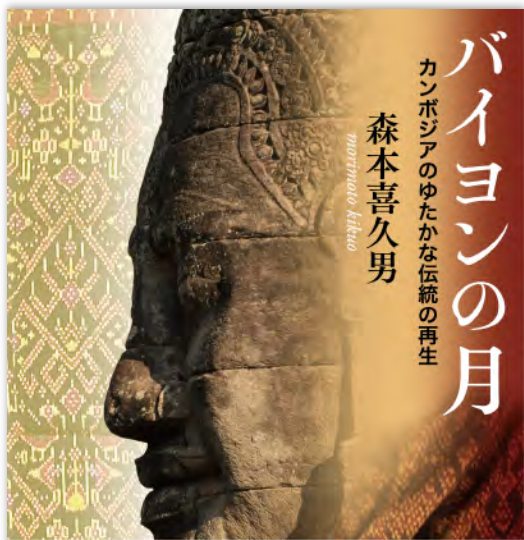


2024年  
10/5  
刊行

新刊のご案内 <工芸/人文書ご担当者様>

風鯨社  
FUGEISHA

カンボジア絹織物の復興に人生をかけた森本喜久男によるこの記録には、自然を敬う気持ちと布が織り上がるまでの手間への愛情が満ちている



森本さんの声が聞こえる!

触れたい布。それは色であり、糸であり、そしてなによりも  
それができ上っていく環境と、それを作る人たち一人ひとりの心  
—これが、わたしたちがたどり着いた「伝統」へのひとつの理解である

# バイヨンの月

著：森本 喜久男 IKTT(クメール伝統織物研究所)創業者  
(1948-2017)

## 「世界一の布をつくる」

クメール伝統織物研究所(IKTT)を創設し、  
カンボジアの伝統的絹織物の復興と再生に  
20年以上取り組み続けた、故・森本喜久男の  
幻の草稿が甦る!

A5版/並製本/カラー口絵付き/  
全232ページ/本体 2455円 + 税



### 森本喜久男とIKTT (Innovation of Khmer Traditional Textiles Organisation) について

IKTT(クメール伝統織物研究所)は、本書の著者である故・森本喜久男(1948-2017)がカンボジアで1996年に立ち上げた現地NGO。

内戦下で途絶えかけていた伝統的絹織物の復興と再生に取り組み、2000年には工房を開設。研修生を受け入れ、若い世代への技術継承に努めてきた。さらにシェムリアップ郊外では木々を育て、絹織物の素材の生産から、染め織りの技術を集積し継承させる場となる「伝統の森」の実現に注力。現在では、敷地のほぼ半分を木々の再生エリアとして保全・育成しつつ、約150人が暮らす「新しい村」として行政的認可を受け、その布はカンボジアのノロドム・シハモニ国王から「この布にはカンボジアの心がこもっている」との称賛を得るまでに。IKTTは、創設者の逝去とコロナ禍での危機を乗り越えて乗り切り、森本の思いを受け継ぎ、伝統的な絹織物の制作を続けている。

本書『バイヨンの月』は、シェムリアップで工房を開設し、「伝統の森」がかたちになり始めた時期に森本自身が書き溜めていた草稿の、日本で初めての出版である。

<森本の著書> 『メコンにまかせ 東北タイ・カンボジアの村から』(第一書林)、『カンボジア絹織物の世界 アンコールの森によみがえる村』(NHK出版)、『カンボジアに村をつかった日本人 世界から注目される自然環境再生プロジェクト』(白水社)、『自由に生きていいんだよ お金にしばられずに生きる“奇跡の村”へようこそ』(旬報社)、ほかに私家版の『森の知恵 The Wisdom from the forest』(クメール語版)など。また、内藤順司写真集『いのちの樹 The Tree of Life IKTT 森本喜久男カンボジア伝統織物の世界』(主婦の友社)など。

<受賞歴> 第11回ロレックス賞(2004年)/社会貢献支援財団より社会貢献者表彰(2010年)/大同生命地域研究特別賞(2012年)/外務大臣表彰(2014年)/ソロプチミスト日本財団より社会貢献賞(2014年)/第11回読売あをによし賞奨励賞(2017年)

FAX (鍛谷書店宛) :

03-5390-2213

取引取次：鍛谷書店 ※鍛谷書店経由ですべての取次に納品可能(返品可)

取次搬入：9月30日頃

お問合せ：風鯨社(鈴木：050-3154-0971 / info@fugeisha.com)

貴店番線印

※直取引(買切)をご希望の方は風鯨社までご連絡ください。  
(Bookcellerからも直接注文可。)

書名 **バイヨンの月** 著：森本喜久男

注文数

ISBN : 978-4-9911568-3-0 C0072

A5判/カラー口絵付

定価：本体 2455円 + 税 (税込2700円) 発行：風鯨社

冊

ご担当者名

-目次-

- 第一部【花】自然の恵みを受け継いで
- 第二部【鳥】布に込められた伝統の技
- 第三部【風】よみがえった黄金の繭
- 第四部【月】新たなる出発
- エピローグ
- 編集を終えて
- 参考文献・関連資料
- 森本喜久男とIKTTのあゆみ
- IKTTについて



美しいクメール伝統織物の  
写真や「伝統の森」での  
制作風景など  
写真多数！

(担当編集者より)  
改めて読み返してみると、かつてあったはずの「草木染」技術への記述は、自然を敬う気持ちと、布が織り上がるまでの手間への愛情に満ちている。今なお進行中の「伝統の森」再生計画は、一義的には、かつてあったはずの「村の暮らし」の復活だが、最終的にはきわめてすぐれた「循環型社会」の構築へと移行する試みの記録であり、アジアの農村で「女性たちのため」の「持続可能な発展」を試みるNGOプロジェクトの先行事例として読むこともできる。



森本喜久男が22年前に著した草稿に  
全ページにわたり下段に注釈を追加。  
詳細に当時の記録背景が分かります。

風鯨社  
好評既刊！



風鯨社は、ひとりでやってる小さな出版社です。たくさんの希望や可能性に溢れたこの海を自由に泳ぐ鯨のように世界に散らばる小さな希望のかけらを本にしてお届けします。

どうして生きて  
いるんだろう—？



いのちのほとり  
(著：咲セリ) 短編小説  
ISBN 978-4-9911568-2-3

私はここにいる。  
あなたがそこにいて  
よかった……。



ボージャーに伝えて  
(著：駒沢敏器) 小説  
ISBN 978-4-9911568-1-6

自分を知って、  
自分らしく生きよう。

自分らしさを見つける  
ための手相の本  
(著：佐々木藍) 実用書  
ISBN 978-4-9911568-0-9

